

令和2年度 一人一人の確かな学力のために

2年

		学年の目標	2学期中間の児童の様子	3学期末の児童の様子
基礎・基本	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新出漢字の確実な定着を図ります。とめ、はね、はらいに気を付けて、確実な習得を目指します。学期末の25問テストでは、90点以上を9割の児童の達成を目指します。また定期的に、小テストを実施し、間違えた漢字を自分で直し、繰り返し練習する習慣をつけます。</li> <li>・順序に気を付けたり、主語や述語を明らかにしたり、自分の意見や考えを書いたりすることができる児童を育成します。さらに既習漢字を使って、文章を書く指導をします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テストの平均は、80点前後でしたが、毎日の宿題で漢字を繰り返し練習させることで、1学期より点数が上がりました。引き続き、家庭学習を活用し、定着させていきます。</li> <li>・はじめ、中、終わりを意識して文章を組み立てることや、自分の意見とともに理由を言うことができる児童が増えました。主語、述語の関係に気を付けて書くことができるよう、国語の読解の際も意識させながら指導していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字小テストの平均点は、2学期より上がり約9割となりました。同じ読み方の漢字や組み合わせについても学び、漢字の理解が深まりました。引き続き、字形を整えて正しく漢字が書けるよう指導します。</li> <li>・主語と述語の関係に気を付けて、文章を読んだり書いたりする児童が増えました。全ての児童がはじめ・中・おわりの構成を意識して文章が書けるように、引き続き指導していきます。</li> </ul>
	算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二位数のたし算やひき算の計算(筆算)の定着を目指します。そのために必要に応じて、計算ドリルに繰り返し取り組ませ、繰り上がり、繰り下りの学習の定着を図るとともに、計算のスピードが速くなるようにします。</li> <li>・量や測定、図形については、算数的活動を取り入れて視覚的にわかりやすくするとともに、日常生活でも活用することで定着を図ります。</li> <li>・かけ算の学習では、全員が1の段から9の段までの九九を確実に覚えられるようにします。そのために、各段を10秒で言うテストを実施したり、授業前にフラッシュカードを用いて九九を確認したりする活動を行います。</li> <li>・年度末までに、ドリルの答えを見たり、友達の発表を聞いたりして、自分で答え合わせができるように指導します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たし算やひき算の筆算では、繰り上がり、繰り下りの定着に課題が残りました。計算ドリルや、プリントなど繰り返し行うことで定着を図り、さらに計算スピードが速くなるよう反復練習をしています。</li> <li>・視覚的に分かる教材や実物を使って体験的に活動することで、実生活と結び付けて考えることができました。</li> <li>・8割の児童が自分で正しく答え合わせができるようになりました。引き続き、間違いを直す習慣が身に付くよう指導していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たし算やひき算の筆算では、練習を重ねたこともあり、8割の児童は計算が速くなりました。しかし、簡単な計算ミスが目立つので、引き続き反復練習を行います。</li> <li>・視覚的に分かりやすい教材や図を活用し、体験的に活動し考えることができました。多くの児童が苦手とする文章問題では、分かっていることと分からないことを図に表し、考えることができました。</li> <li>・8割の児童が計算ドリルの答え合わせを正しくできるようになりました。間違いをそのままにせず、直して提出できるよう引き続き指導していきます。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイブックを常備し、空いている時間には読書に親しみ、読書目標の100冊の達成を目指します。</li> <li>・読書科では国語や生活科と関連させながら、読書科ノートを活用し、調べる学習を年間12時間行います。粘り強く本を読み、本から必要な情報を見付け、まとめる児童を育成します。</li> <li>・パソコンに慣れ親しむ児童を育成します。パソコンの開始、終了を自ら行い、マウスの基本的な操作を習得し、絵や文字を入れた簡単な作品を作成します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空いている時間には読書に親しみ、読書目標達成に向けて本に親しみました。また10月の読書月間の際には、積極的に読書に親しむ姿がたくさん見られました。</li> <li>・生活科で生き物の学習を行った際に、本で食べ物や住みかを積極的に調べると、本から情報を探し、得た情報を生かすことができました。</li> <li>・パソコンを使用した授業を今後行い、マウスでクリックやドラッグなどの基本的な操作を習得できるようにします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝や昼読書の時間など、9割の児童が読書に親しむことができています。2学期に比べ、迷路や絵本ではなく、物語や図鑑を読む児童が増えています。</li> <li>・読書科の学習では、調べたいテーマを自ら決め、本から得た情報を記録することができました。友達同士、まとめ方を紹介し合うなどして、工夫してまとめることができるよう指導を続けます。</li> <li>・パソコンに触れ、クリックやドラッグの練習を行いました。マウスを用いたゲームを通して、基本的な操作を身に付けました。</li> </ul>
思考力・判断力・表現力	思考力・判断力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対して、自分の考えをもって解決できる児童を目指します。そのために、前時の復習を取り入れたり、既習事項を想起させたり、見直しをもって課題解決に取り組ませます。</li> <li>・自分の思いや考えをもち、ペア学習やグループ学習の際に、伝えることができる児童を目指します。また同じ意見、違う意見など、様々な意見を知り、相手の意見を尊重する態度を育成します。</li> <li>・ノートで思考の整理ができる児童を目指します。どの単元においても、問題、めあて、自分の考え、まとめ、学習感想など、1時間の学習の中で問題解決の過程が分かるノートの作成ができる児童を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてや課題を掲示して明らかにすることで、課題解決を意識して授業に取り組むことができました。9割の児童が、自分の考えを図や言葉で書くことができました。</li> <li>・自分の意見をしっかりともち、学級で比較検討する際、同じ意見、違う意見など、様々な意見を知り、相手の意見を尊重する心を育てました。</li> <li>・1時間の流れがよくわかるように、板書をノートにまとめることができるようになってきました。引き続き、字を丁寧に書く、定規を使って直線を引く、下敷きを使う、などの学習の基本が身に付くよう、指導します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてと課題を意識し、授業に取り組むことができました。単元の最初には、全員で学習計画を立て、見直しをもって学習に臨みました。</li> <li>・自分の思いや考えをもち、ペア学習やグループワークで考えを伝えることができました。自分の思いと相違した意見も、質問をすることで相手の意見を尊重することができました。</li> <li>・9割の児童が、1時間の学習内容を分かりやすくノートにまとめることができました。色分けを工夫したり、自分の考えを書き足すなど、自分なりのノートを書くことができました。引き続き、定規と下敷きを正しく使うように指導していきます。</li> </ul>
	表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶を自分から進んでできる児童を目指します。</li> <li>・話し方名人、聞き方名人を掲示し、相手の顔を見て、終わりまで聞くことを指導します。</li> <li>・「声のものさし」を掲示し、声の大きさを目的に合わせて変えられるよう、指導します。</li> <li>・家庭学習を毎日30分(学年×15分)取り組むことを目指します。そのために毎日の音読、漢字、計算の宿題の他に自主学習もできるよう、「家庭学習の手引き」を活用して、指導に当たります。</li> <li>・チャイム着席・次時の授業の準備の習慣化を毎日全員が、100%できることを目指します。朝の会では、担任から1日の流れを伝え、予定を掲示しておくことで、見直しをもって行動できる児童を増やします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶を自分から進んでできる児童は以前より増えました。引き続き、「おはようございます。」「さようなら。」「が伝わる声の大きさで言えるように指導します。</li> <li>・話を聞く姿勢は、現在も指導中です。発表するときは、友達の方を見て、届く声で伝えることを引き続き指導していきます。</li> <li>・家庭学習を毎日30分(15分×学年)取り組みました。毎日の音読、漢字、計算の宿題の他に自分で課題を見付け、自主学習にも取り組むことができました。</li> <li>・朝の会で1日の流れを伝え、黒板に視覚化しています。9割の児童がチャイム着席をしています。今後は、次時の授業準備に焦点をおきながら、褒めて価値付けすることで、100%の定着を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶マスターの活動もあり、8割以上の児童が相手の顔を見て挨拶できています。状況を考えて、会釈のみにするなど場に応じた挨拶ができる児童も増えています。</li> <li>・2学期に比べ、話している人の目を見て顔色ながら話を聞くことのできる児童が増えました。発表する時、聞き手に伝わる声の大きさと話すことができるよう指導していきます。</li> <li>・家庭学習期間には、毎日30分の学習に取り組みました。自分の苦手としている課題を見つけ、意欲的に学習できました。日記や折り紙といった活動にも楽しく取り組み、家庭学習を充実させることができました。</li> <li>・9割の児童がチャイム着席できました。一方、次時の学習準備ができた児童は5割ほどに留まったので、粘り強く指導します。</li> </ul>
学習習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶を自分から進んでできる児童を目指します。</li> <li>・話し方名人、聞き方名人を掲示し、相手の顔を見て、終わりまで聞くことを指導します。</li> <li>・「声のものさし」を掲示し、声の大きさを目的に合わせて変えられるよう、指導します。</li> <li>・家庭学習を毎日30分(学年×15分)取り組むことを目指します。そのために毎日の音読、漢字、計算の宿題の他に自主学習もできるよう、「家庭学習の手引き」を活用して、指導に当たります。</li> <li>・チャイム着席・次時の授業の準備の習慣化を毎日全員が、100%できることを目指します。朝の会では、担任から1日の流れを伝え、予定を掲示しておくことで、見直しをもって行動できる児童を増やします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶を自分から進んでできる児童は以前より増えました。引き続き、「おはようございます。」「さようなら。」「が伝わる声の大きさで言えるように指導します。</li> <li>・話を聞く姿勢は、現在も指導中です。発表するときは、友達の方を見て、届く声で伝えることを引き続き指導していきます。</li> <li>・家庭学習を毎日30分(15分×学年)取り組みました。毎日の音読、漢字、計算の宿題の他に自分で課題を見付け、自主学習にも取り組むことができました。</li> <li>・朝の会で1日の流れを伝え、黒板に視覚化しています。9割の児童がチャイム着席をしています。今後は、次時の授業準備に焦点をおきながら、褒めて価値付けすることで、100%の定着を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶マスターの活動もあり、8割以上の児童が相手の顔を見て挨拶できています。状況を考えて、会釈のみにするなど場に応じた挨拶ができる児童も増えています。</li> <li>・2学期に比べ、話している人の目を見て顔色ながら話を聞くことのできる児童が増えました。発表する時、聞き手に伝わる声の大きさと話すことができるよう指導していきます。</li> <li>・家庭学習期間には、毎日30分の学習に取り組みました。自分の苦手としている課題を見つけ、意欲的に学習できました。日記や折り紙といった活動にも楽しく取り組み、家庭学習を充実させることができました。</li> <li>・9割の児童がチャイム着席できました。一方、次時の学習準備ができた児童は5割ほどに留まったので、粘り強く指導します。</li> </ul>	